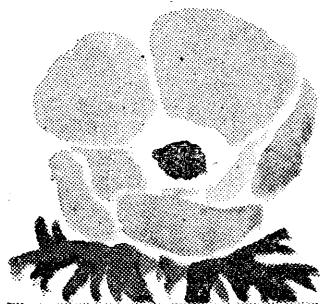


## 徳島名物今昔論



N.T.

### 板東和子

この郷土の名物を大切にしなければと日夜努力をつづけている。名実共に日本一になるようにとまいに進んでいる。

ところがこの度

「幼児の教育」よりその名物について語れということである。

而し最初は一つであった幼稚園が次第次第と数を増し、現在のように公立幼稚園の多い徳島として又その分布に於ては全国第一としての位置を得るに至った遙かなる過程を思う時、幾多の先輩諸賢がこの道に勞をつくされた事かと今更のように無量の感に打たれるのである。

ここに過去をしのび、本県幼稚園史をひろげることは我が道の先駆者として本県幼稚園界に偉業をのこされた有名無名の人達に感謝のまことを捧げることであり、又私もこの道の一人として後より来る人達に対してその足跡のますます強く大きく印さねばと自らに鞭打つ次第とも思われるのでしばらく幼稚園の昔をたどることにする。

本県に簡易幼稚園規定が定められ、学令未滿の幼児を小学校内に於て小学校教員或は教員補助又は適當の婦人等が保育の任に當つたのは明治十七年の事で文部省が学令未滿の幼児は幼稚園の方法により保育すべき旨、府県へ示達したその年の事である。

この時いち早く徳島市内に富田、助任、寺島の三小学校に幼稚科として設置せられたも

数年前のことである。

我が徳島に足をはこばれた長田新博士は私共こう語られた。

「徳島には名物が三つある。鳴門わかめに阿波踊り、それに幼稚園教育。徳島の幼児教育はすばらしいですよ、実に名物ですよ。」

鳴門わかめに阿波踊りは自他共にゆるした名物だから当然の事として聞いたわけだが、三つ目の名物については一同互に顔を見合せて啞然とした次第である。

県外人に紹介されてはじめて気のつく名物というのには実に珍らしいことである。私共は

「名物にうまいものなし」

徳島の幼稚園教育も例えにもれず、知つてみたらそれ程の事ではなかったと、全国同じ道の人達にわらわれそうでいささか気のひける思いもするのであるが、兎に角何とか書いて責めを果したいと思うのである。

現在県下の幼稚園は国立一、公立一五〇、分園九、私立四、という数を示し、公立幼稚園が絶対数であるがこれを小学校の二九六に比べると五三%となり私共の願う小学校毎に幼稚園をという理想の考えには程遠いことである。

のが聞もなく法令の改正により廢止のやむなきに至っている。

その後明治二十三年四月徳島高等女学校に仮りに幼児保育科を設け該校生徒がその任に當っていたのが、翌二十四年三月同校の廢止と共に幼稚科もその運命を共にしている。

後、明治二十六年に至りて師範学校附属小学校に幼稚園が附設されたが、地方教育者の中には幼稚園を経たる者は必ずしも小学校に於て成績良好でないという意見を以てその眞価を認めようとせず、又経費等の理由を以て公私立幼稚園の促進がはばまれた儘十数年を経過した事は今にして思えば実に時世の相違とは云え、今昔の感に堪えぬものがある。

爾來六十年。如何なる世相の變転にも眞に幼児の幸福を願ひ、すべては子供の爲にと霜に堪え、嵐に堪えた尊き人達の困難は世人の理解と認識を得、要路の人達の協力を得るに至り、就学前教育の重要性をさとする者次第に多く、入園希望者は年と共に増加し、隨つて幼稚園数も時勢につれて次々と創設され現在の隆盛をみるに至つた次第である。

左に幼稚園の設立を年代別に見てみると

の情況がよくわかるのである。

徳島県公立幼稚園年代表

明治	年	代	園	数	年	代	園	数	年	代	園	数	年	代	園	数	年	代	園	数
二六	一	三九	一	八	一	七	一	三	一〇	一										
二七	四〇	四〇	一	九	一〇	八	七	三	二〇											
二八	四一	四二	一	一〇	九	八	三	一	二二											
二九	四二	四三	一	一一	一〇	九	三	一	二二											
三〇	四三	四四	一	一二	一一	一〇	二	二	二三											
三一	四四	四五	一	一三	一二	一一	二	二	二四											
三二	四五	四六	一	一四	一三	一二	二	二	二五											
三三	四六	四七	一	一五	一四	一三	一	一	二六											
三四	四七	四八	一	一六	一五	一四	一	一	二七											
三五	四八	四九	一	一七	一六	一五	一	一	二七											
三六	四九	五〇	一	一八	一七	一六	一	一	二七											
三七	五〇	五一	一	一九	一八	一七	一	一	二八											
三八	五一	五二	一	二〇	一九	一八	一	一	二九											
大正																				
昭利																				
昭和																				
昭戦																				
昭戦後																				
計																				
計																				

明治年間の三園、大正年間の八園はすべて徳島市内及び隣接の板野郡内に設立されたものばかりで何れも私立幼稚園として小学校に附設して充足したものが後、市町村に移管されて公立となつたものである。

十五年の翌年春を以てすべて市に移管され、私立を市立と園名変更している。何れの処も同じ状態と思われるが本県も戦後に於ける幼稚園教育はめざましいものがあり、園数も急激に増加をみせている。その原因となすところはいろいろあると思

昭和三十年一月末日現在

われるが昭和二十二年学校教育法の中に於て幼稚園が学校教育の一貫としての法的根拠を持つに至った事が最大の原因と思われる。

又アメリカの教育使節団が来朝の機に幼児教育の重要性を指摘したる事も大いなる原因とみるべきであろう。

又全国国公立幼稚園長会の組織と活動の力により、中央は勿論全国各地には一段と幼児教育の重要性と大衆化が叫ばれるに至り、国費及び県費を以て幼稚園教育の若干が負担されるをみるに至った事も原因と言わねばなるまい。本県に取つてもこれらの事は何れも幼稚園教育振興の大いなる原動力となつた事はいう迄もない。

県費といえは本県に幼稚園教育振興費と銘打つて県より幼稚園費の一部のまかなわれたのは昭和二十六年、当時百十二の幼稚園に対し平均二万円の二二四万円が支出された事がはじめてであり、この事は実に全国嚆矢の事と聞いている。

「教育は人により」かけても幼児教育に於ては被教育者が幼少なるが故にこの事は最も重要視されねばならぬ筈であるのに、教員の

資格は要求されて給与の保証されぬ現世にては我が徳島にも給与の不均衡、不平等は甚だしく、これが解決されねば幼稚園の現場によりき人を得られずとその運動に着手したのは昭和二十三年の事である。

その時幸にして我が徳島の要路に幼稚園のよき理解者を得、突然とあげた現場の声に相呼応しておしみなぎ協力を得、我々は熱と力の一丸となり三カ年の労苦を経てはじめて初期の目的にささやかながら火を点じたわけである。

我々の点じた火は乏しくとも消えることなく四年を経過した現在では理解者と協力者は次第に数を増し、年度毎の予算獲得期にはより多くの補助金を得なければと奔走している現状である。

昭和二十三年、戦後の教育界に於て義務制でないという一番弱身の幼稚園がこうした運動を展開した当時をしのぶ時、苦難であった幾多の様相が去来して何千何万の言葉にしても語りつくせぬ思いがするのである。

現場によりき教育者を得る事は子供の為、現場をよくし、幼稚園教を増し、すべての子供

が平等に就学前の教育を受けらるるようと、こい願う私共の一念は目的完遂の日迄夢にも絶えてはならぬものとますますきおい立つ次第である。

次に本県幼稚園の分布状態におもしろい現象のあることをおしらせたい。

県内を南北に二分して北方に園数多く南方には極く稀で保育所がこの反対となつてゐることである。

この事は四国の屋根に源をおこし四国三郎とうたわれる吉野川の水の至る県北の生活様式と南方のそれとの相違が遠い影響であるということを聞かされている。

即ち県南では野良に出る時一家は総出で戸を閉めて働きに出る。随つて幼児をあづかる託児所や保育所が地方の寺院等の手によつて古くより営まれて来た事であり、北方では野良に出ても戸毎に留守を守る者がいた為にくうした必要もみられずその内に時の至りて次第に幼稚園の開設された事である。

本県幼稚園の分布状態にこうした事が原因しているとすれば実におもしろい事である。紙面に限られて最後に本県幼稚園の現況を示

してアウトラインとしたい。

1、園数 一五〇

国立一、公立一五九（分園九を含む）

2、園児数 一六、五九九

3、組数 四三七

4、一組平均園児数 三八

5、専任教員数と教員平均給

四六六名 七三三六円

6、就園率 九六、五%

7、保育年限

一年保育が多数で二年保育は極く少数、三年保育は実施されていなし。

8、保育料 最高三〇〇円（徳島市のみ）

最低 一〇円

その他は二〇、三〇、五〇、七〇、一〇〇円のところが殆どである。

9、独立幼稚園

#### 四、 県幼稚園PTA連合会

専任園長は昭和二十三年に始めて女子園長四名が任じられ後三名増加されたが現在は矢張り四名である。その他はすべて小学校長が兼任している。

10、研究組織体と後援機関

#### 県教育会幼稚園部会

昭和八年以来県教育会の専門部会として、幼、小、中統の教育に一貫し、又各都市互に横の連絡をはかり、幼稚園教育の振興と發展を期して不断の努力を付けている。

#### 各都市幼稚園部会

各都市毎に幼稚園部会を組織して親会である幼稚園部会と同様の目的を以てそれぞれの領域内に於て研究と活動をしている。

#### 県園長会

昭和二十六年二月二十三日結成し、園長会としての機能を發揮しつゝ前者と相俟つて日々前進している。

#### 県幼稚園PTA連合会

昭和二十八年十二月八日結成し、県内幼稚園PTAの連絡提携をはかり、幼稚園教育の充実と振興を期し、社会文化の推進に寄与している。

又名物の話に戻って恐縮だが、これこそ名物としてゆるして頂き度いものに、入園通知

書は役場が家庭におくり、保育料は無徴収、就園率百パーセントという幼稚園が三十三園もある事である。

その町村財政が決して豊かな為ではない。要は町村並びに地域社会における幼稚園の認識が最も正しく理解されている為だと思ふ。こうなれば幼稚園は全くの義務制同様である。

国が義務制とするか。市町村が義務制の態勢をつくるか。何れにしてもすべての人が重要と認める今日の幼稚園教育を本県三十三園のその様に何故にすべての子供が就園出来るような現実が伴わぬ事かとここにも矛盾を感じるが、この広い空のどこから幼稚園の幸福は必ず生れるものと永却につづく我が道をますます力強く歩かねばと思うのである。ここ迄書いて私は幼稚園の外形ばかりならべて徳島名物などと自己満足をしていた事に気がついた。〃量より質〃 〃質より量〃 どうやら後者を自慢した事になってしまった名物の出なおして「量よし、質よし、徳島名物」と全国の皆様に珍重される日まで命のつづく限り懸命の努力をつづけたものである

（徳島市立佐古幼稚園）